

平成29年 6 月 30日

各 位

愛知教育大学入試課  
静岡大学教育学部学務係

平成30年度愛知教育大学大学院・静岡大学大学院  
教育学研究科共同教科開発学専攻学生募集について

本専攻の学生募集要項は別添のとおりでございますが、実際の出願にあたっては下記の請求方法により、学生募集要項を入手し、所定の様式により出願をお願いします。

記

(1) 請求方法

表に「**共同教科開発学専攻学生募集要項請求**」と朱書きした封筒に、「返信用封筒」を同封して、(2) 連絡先（いずれの大学でも結構です）に送付してください。

○返信用封筒（本学からの募集要項送付用封筒）

・規格 角形2号封筒（33cm×24cm）

・請求者の郵便番号、住所、氏名を明記のうえ、250円分の切手を貼付

また、窓口にお越しいただいた場合には、その場でお渡しすることもできます。

(2) 連絡先（いずれの大学籍を希望する場合でも、以下に従ってご連絡ください）

	願書の請求	出願の受付	お問い合わせ
愛知教育大学入試課 〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課 電話 (0566) 26-2203・2202	○	×	×
静岡大学教育学部学務係 〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 静岡大学教育学部学務係（大学院担当） 電話 (054) 238-4579	○	○	○

平成30年度  
愛知教育大学大学院・静岡大学大学院  
教育学研究科共同教科開発学専攻  
(後期3年のみの博士課程)

# 学 生 募 集 要 項

出願受付期間	平成29年9月25日(月) ～平成29年10月3日(火)
試 験 日	平成29年11月4日(土)
合格者発表日	平成29年11月17日(金)



## 愛 知 教 育 大 学

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1  
入試課 電話 (0566) 26 - 2203・2202 [入学試験関連]  
FAX (0566) 26 - 2200  
教務課 電話 (0566) 26 - 2697 [大学院教務関連]  
FAX (0566) 26 - 2160  
大学ホームページ <http://www.aichi-edu.ac.jp/>



## 静 岡 大 学 教 育 学 部

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836  
学務係 電話 (054) 238 - 4579 [大学院担当]  
FAX (054) 237 - 6254  
学部ホームページ <http://www.ed.shizuoka.ac.jp/>

共同教科開発学専攻ホームページ <http://subdev.ed.shizuoka.ac.jp/>

## アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

共同教科開発学専攻は、愛知教育大学と静岡大学が共同して教育課程を構成している後期3年みの博士課程です。本共同専攻では、子どもたちを取り巻く環境を視野に入れ、教科との関わりの中で学校教育が抱える複雑化、多様化した諸課題に対応した教育及び研究を行っています。

本共同専攻は、教科開発学について高度で専門的な教育及び研究を行うことで、次のような能力を持つ者の育成を目指しています。

◎教育事象の因果関係を把握し、教科との関わりの中で学校教育が抱える諸課題に対応した研究を自立して遂行できる能力

◎学術的及び専門的知見を教科内容として構成し、教育論、教科内容の構成原理や教育方法、教材を開発する能力

◎学校教育の実践を理論化し、その理論を実践に活かす能力

本共同専攻では、大学院修士課程又は専門職学位課程や教育現場等で培った十分な学力、研究力、実践力に加え、新たな学問分野に挑戦する意欲を有し、博士の学位取得後、教科開発学の分野において自立して研究と実践を行い、大学教員をはじめとした研究者として、広く教育界に貢献する意志がある者を求めています。

## ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

共同教科開発学専攻は、学校教育が抱える複雑化し、多様化した諸課題に対応した高度な教科学と教育環境学を融合した教科開発学を学び、学位取得後に国公立大学の教員養成系の学士課程、教職大学院を含む大学院課程等の高等教育機関において、自立した教科開発学分野の教育者及び研究者として、高度な資質を持った教員養成を行うことのできる者を育成することを目的としています。

本共同専攻では、規定の年限在学し、かつ、所定の単位を修得し、以下のような能力を獲得するとともに、指導教員の指導の下で必要な研究指導を受けて学位論文を作成し、学位論文の審査及び当該論文を中心とした最終試験に合格した者に「博士(教育学)」の学位を授与します。

◎教育事象の因果関係を把握する能力を身につけ、教科との関わりの中で学校教育が抱える諸課題に自立して対応し得る研究能力

◎学術的な専門的知見を教科内容として構成できる能力を身につけ、教育論、教科内容の構成原理や教育方法、教材を開発する能力

◎理論と実践の検証能力を身につけ、学校教育の実践を理論化し、その理論を実践に活かす能力  
なお、学位論文の審査にあたっては、客観性及び厳格性を確保するため、「学位論文審査基準」を定めており、学位論文はこの基準を満たすものであることが求められます。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

共同教科開発学専攻における教育は、授業科目の履修と学位論文の作成に関する指導によって行われます。本共同専攻では、子どもたちを取り巻く環境を視野に入れ、教科との関わりの中で学校教育が抱える複雑化し、多様化した諸課題に対応した教科開発学の分野における研究を行いつつ、専門に関する幅広い知識や深い理解に基づき研究を遂行する能力及び実践力を有する大学教員をはじめとした研究職を志向する者の育成をめざし、以下の科目等で教育課程を編成し実施します。

◎教科開発学の原理的諸課題や教科開発学の研究方法論を習得したり、大学教員としての教育実践力、教員FD等、実践的諸課題を探究したりするための専攻基礎科目

◎教育環境学と教科学の先進的かつ多様な知見を習得するとともに、その知見を教科開発、教育方法、教材開発などに活用することを追究するための専攻分野科目

◎教員から提示された研究課題や自己の研究課題について、成果発表を通じた学生自身の課題追究、各学生の研究進捗状況をフォローアップするための専攻応用科目

## 共同大学院について

### 1. 共同して教育課程を構成する大学院(共同大学院)とは

複数の大学が連携して教育研究資源を最大限に活用し、地域の活性化、多様で特色ある教育研究を推進するため、共同で教育課程を実施し、連名で学位授与を可能とする仕組みを利用した大学院です。

### 2. 本共同大学院の主な特徴

- (1) 愛知教育大学と静岡大学の連名による学位が授与されます。
- (2) 愛知教育大学と静岡大学の両大学に在籍することになりますが、主として研究指導を担当する専任教員(主指導教員)が在籍する大学に学籍を置き、当該大学の他の学生と同様のサービスを受けることができます。また、「学籍を置かない」大学でも図書館利用などのサービスを受けることができます。ただし、一部、各大学の事情により利用できない施設等がある場合があります。
- (3) 学籍を置いた大学以外の構成大学の教員(副指導教員、指導補佐教員)からも研究指導が受けられる体制となっています。
- (4) 愛知教育大学と静岡大学の両大学で開講する、共同大学院の講義を受講することができます。

### 3. 出願大学, 受験大学, 学籍を置く大学について

- (1) 主指導教員の所属する大学には関係なく、出願書類等の提出先及び入学者選抜試験会場は静岡大学となります。
- (2) 入学後に学籍を置く大学は、主指導教員の所属する大学となり、入学手続、授業料等の納付、奨学金の申請等に関して、当該大学の学生として取り扱います。

入学者選抜を通じて取得した試験成績等を含む個人情報については、入学者選抜以外の目的に用いることはありません。ただし、個人を特定しない形で統計的な調査に使用する場合があります。

# 目 次

1	分野及び募集人数	1
2	出願資格	1
3	出願手続	2
4	受験票の交付	6
5	選抜方法	6
6	試験会場	7
7	合格者の発表	7
8	入学手続	8
9	出願資格に関する事前審査	9
10	入試情報の開示	9
	共同教科開発学専攻専任教員一覧	10
	試験会場・交通案内	12

# 学生募集要項

## 1 分野及び募集人数

### 共同教科開発学専攻

分野	募集人数	
	愛知教育大学	静岡大学
教育環境学	4名	4名
人文社会系教科学		
自然系教科学		
創造系教科学		

(合格者数が募集人数に満たなかった場合、追加募集を行うことがあります。)

## 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 修士の学位又は専門職学位（学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者（平成30年3月31日までに取得見込みの者を含む）
2. 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成30年3月31日までに取得見込みの者を含む）
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成30年3月31日までに取得見込みの者を含む）
4. 我が国において外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成30年3月31日までに取得見込みの者を含む）
5. 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設置された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（平成30年3月31日までに取得見込みの者を含む）
6. 外国の学校、前述4の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（平成30年3月31日までに合格見込みの者を含む）

7\*. 後期3年博士課程への入学に関し、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

(1) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本共同専攻において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本共同専攻において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

8\*. 本共同専攻において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（修士論文と同等以上の価値があると認められる顕著な研究業績（学術書や全国学会誌に掲載された査読付き学術論文）を有する者）で、平成30年3月31日までに24歳に達している者

\*出願資格 7 又は 8 により出願しようとする者は、9ページに記載する「9 出願資格に関する事前審査」により、出願資格認定のための審査を受けなければならないので注意してください。

### 3 出願手続

#### (1) 出願書類等

	書類等	提出該当者	提出部数	摘 要
①	入学願書	全 員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し提出すること。
②	修了（見込）証明書（修士課程又は専門職学位課程のもの）	修士課程又は専門職学位課程修了（見込）者	1 部	出身（在籍）大学長又は研究科長等が作成したものを提出すること。
③	成績証明書（修士課程又は専門職学位課程のもの）	修士課程又は専門職学位課程修了（見込）者	1 部	出身（在籍）大学長又は研究科長等が作成し、厳封したものを提出すること。
④	受験票，入学検定料受付証明書貼付票，写真票	全 員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し，日付印の押された入学検定料受付証明書を貼付し，切り離さずに提出すること。
⑤	受験票送付用封筒	全 員	1 部	所定の封筒に出願者の住所，氏名を記入し，返信用郵便切手（362円分）を貼って提出すること。
⑥	宛名票	全 員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し提出すること。
⑦	出願書類等提出明細票	全 員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し提出すること。

⑧	修士論文等の写し	修士課程又は専門職学位課程修了者	2部	修士論文等とは、次の(1)～(3)のいずれかとする。 (1) 修士論文 (2) 修士論文作成以降、現在までに発表した論文 (3) 特定の課題についての研究(課題研究)の成果 <b>所定の「修士論文等」を表紙として提出すること。</b> また、上記(1)～(3)において日本語又は英語で書かれたもの以外は、和訳を付すこと。
⑨	修士論文等の進捗状況報告書	修士課程又は専門職学位課程修了見込者	2部	A4判の用紙を使用し、修士論文等の進捗状況報告書(修士論文等の中間報告書)をまとめ、 <b>所定の「修士論文等」を表紙として提出すること。</b> また、最終ページに指導教員等による報告書の内容に対するコメントを記載者の職名・署名入りで付すこと。
⑩	修士の学位相当以上の論文の写し	出願資格 7及び 8により出願する者	2部	修士の学位相当以上の論文とは、学術書や全国学会誌に掲載された査読付き学術論文をいう。 <b>所定の「修士論文等」を表紙として提出すること。</b> また、日本語又は英語で書かれたもの以外は、和訳を付すこと。
⑪	修士論文等(修士論文等の進捗状況報告書、修士の学位相当以上の論文を含む)の概要	全 員	3部	A4判の用紙を使用し、修士論文等(修士論文等の進捗状況報告書、修士の学位相当以上の論文を含む)の概要を和文で4,000字以内(英文の場合は2,000語以内)にまとめ、 <b>所定の「修士論文等の概要」を表紙として提出すること。</b>
⑫	研究計画書	全 員	3部	本共同専攻において研究しようとする課題、3年の在籍期間における研究の計画、研究の方法、この課題についての研究の現状、本人のこれまでの研究との関連等について和文で2,000字以内にまとめ、 <b>所定の「研究計画書」を表紙として提出すること。</b>
⑬	研究業績一覧	全 員	3部	修士論文等を含め、本専攻において研究しようとする課題に関連のある著書・論文・口頭発表・作品発表等の研究業績一覧を所定の用紙に記入し、これまでの研究の概要を和文で2,000字以内にまとめ、 <b>所定の「研究業績一覧」を表紙として提出すること。</b>
⑭	承諾書	該当者	1部	在職中の者で、現職のまま本共同専攻に入学しようとする者は、 <b>所定の「承諾書」を提出すること。</b>

※所定の表紙は必要に応じコピーし添付の上、提出すること。

## 【外国人留学生の場合の追加提出書類】

⑮	在留カード等	日本に在住する外国人	1部	日本に在住する外国人は、次のいずれかの証明書を提出すること。 ア 在留カードの写し（在留資格・在留期間が確認できる箇所を含むこと） イ 入国査証の写し（記載事項のある全てのページ）
⑯	日本語能力についての調査書	外国人留学生	1部	所定の用紙を用い、日本語教育機関（日本語能力試験N1レベル以上）又は修士課程等の指導教員が作成（厳封）したものを提出すること。
⑰	国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生	1部	在籍している大学発行の国費外国人留学生証明書を提出すること。

- (注) 1. 出願書類は日本語で記載してください。  
2. 証明書等で英語以外の外国語による記載のものについては、必ず和訳を添付してください。  
3. 提出書類のうち⑧⑨⑩⑪⑫⑬については、必要部数をコピーして、それぞれ一部ずつクリップ（又はダブルクリップ）留めにしてください。  
4. 各証明書と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書を添付してください。  
5. その他必要に応じて証明書等の追加提出を求める場合があります。

### (2) 入学検定料の振り込み

検定料（30,000円）

・平成29年9月22日(金)から10月3日(火)までの間に本要項に同封の「**入学検定料払込書**」の「ご依頼人欄」に志願者本人の氏名(3ヶ所)住所等(2ヶ所)を記入し、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で現金を添えて払い込み、検定料を払い込んだことを証明する「入学検定料受付証明書」（振替払込受付証明書：日附印があるもの）を「**入学検定料払込受付証明書貼付票**」の所定の欄に貼り付け、出願書類と一緒に提出してください（払込手数料は本人負担）。

ただし、現在、愛知教育大学大学院修士課程、専門職学位課程又は静岡大学大学院修士課程、専門職学位課程に在籍中の者が、愛知教育大学大学院・静岡大学大学院教育学研究科共同教科開発学専攻に出願する場合は、入学検定料を徴収しません。

また、出願者が自然災害等の被災者である場合、入学検定料の払い込みが免除される場合がありますので、第一希望として指導を受けることを希望する教員の在籍する大学に出願前に問い合わせてください。

払い込まれた検定料は、次の場合を除き、返還しません。

- (ア) 出願書類を提出しなかった場合
- (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- (ウ) 出願書類が受理されなかった場合

\* 検定料の返還請求方法

- ・ 上記(ア)又は(イ)の場合

適宜の用紙（便箋等）に次の1～7を明記した「検定料返還請求書」を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書」又は「払込金受領証」のいずれかを添付して、平成29年10月13日（金）〔必着〕までに静岡大学教育学部学務係（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836）へ郵送してください。

- ・ 上記(ウ)の場合

出願書類返却時に、「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 出願しようとした大学院研究科専攻名
- 3 氏名（フリガナ）
- 4 現住所
- 5 連絡先電話番号
- 6 返還請求額
- 7 返還金振込先
  - ・ 金融機関名（郵便局は不可）、支店名
  - ・ 預金種別（当座・普通）、口座番号
  - ・ 口座名義人（フリガナ）
  - ・ 口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

### (3) 出願方法

出願者は、出願書類を一括して郵送にて提出してください。封筒の表に「博士課程 出願書類在中」と朱書し、必ず書留郵便で送付してください。

### (4) 出願期間

平成29年9月25日(月)から10月3日(火)まで (郵送に限ります。10月3日(火)17時まで  
に静岡大学教育学部学務係に必着のこと)

### (5) 出願書類等の送付先

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836  
静岡大学教育学部学務係  
TEL (054) 238-4579

(注) 出願受付は、静岡大学のみで行っています。愛知教育大学には送付しないでください。

### (6) その他出願に際しての留意事項

- ア 出願書類提出後における記載事項の変更は一切認めません。
- イ 出願書類に不備があるときは、受理しないことがあります。
- ウ 受理した出願書類は返還しません。
- エ 身体に障害のある者で、受験に際して特別の配慮を必要とする者は、平成29年9月4日(月)までに申し出てください。

### (7) 研究指導教員について

本共同専攻の設置趣旨に基づいて、入学後に各学生に対し主指導教員及び両方の大学から少なくとも1名以上の副指導教員を配置し、3名以上の教員の指導の下で研究を行うこととなります。出願に際して、主指導教員として指導を受けることを希望する教員を10～11ページの「共同教科開発学専攻専任教員一覧」に記載されている教員のうち、◎印を付してある「主指導教員となり得る教員」の中から選び(第2希望は空欄でも可)入学願書に記入してください。その場合、大学をまたいで主指導教員を選択して希望することも可能です。また、副指導教員については、入学後、主指導教員の指導の下に共同専攻所属教員の中から選ぶこととなります。

## 4 受験票の交付

受験票、受験案内は、平成29年10月20日(金)頃に静岡大学より郵送します。

## 5 選抜方法

### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類と小論文試験、外国語(英語)筆記試験、口述試験の結果を総合して行います。

## (2) 選抜試験の日程

実施日	試験科目等	試験時間
平成29年11月4日(土)	小論文試験	9:30~10:30
	外国語(英語)筆記試験	10:45~11:45
	口述試験	13:00~

※ 悪天候等で入学試験を延期する場合は、平成29年11月4日(土)の7時30分までに静岡大学ホームページ(<http://www.ed.shizuoka.ac.jp/>)で通知します。延期となった場合は、平成29年11月5日(日)に実施します。

## (3) 選抜試験の内容・配点

- ① 小論文試験(配点:100点)  
教育に関するテーマを出題する。
- ② 外国語(英語)筆記試験(配点:100点)  
教育に関する分野を扱った英文で研究に必要な英語力を問う(電子辞書を含む辞書の持ち込み可)。
- ③ 口述試験(配点:200点)  
これまでの研究内容と入学後の研究計画等を中心に行う。

過去の共同大学院の入試問題は、愛知教育大学附属図書館\*、静岡大学入試情報閲覧室(静岡キャンパス共通教育A棟4階)、静岡大学教育学部学務係にて閲覧することができます。  
\*平成29年度は、愛知教育大学附属図書館の改修のため、8月31日(木)【予定】までは、大学会館の仮設図書室にて、9月1日(金)から9月29日(金)までは愛知教育大学入試課にて閲覧することができます。

## 6 選抜試験会場

静岡大学 教育学部 B棟

所在地 : 静岡県静岡市駿河区大谷836

TEL : (054)238-4579

(詳細は、受験票送付時に同封する受験案内で確認してください。)

## 7 合格者の発表

日時 : 平成29年11月17日(金) 10時

発表方法 : 合格者の受験番号を愛知教育大学及び共同大学院のホームページに掲載します。

愛知教育大学 <http://www.aichi-edu.ac.jp/>

共同大学院 <http://subdev.ed.shizuoka.ac.jp/>

- ・合格者には、合格通知書を即日郵送します。
- ・入学手続関係書類については平成30年2月中旬~下旬(予定)までに郵送します。  
注) 電話その他による可否の照会には一切応じません。

## 8 入学手続

### (1) 入学手続期間

(以下の日程は予定です。詳細は後日郵送する入学手続関係書類で確認してください。)

#### 愛知教育大学に学籍を置くことを許可された者

日 時	場 所
【持参の場合】 平成30年3月13日(火) 9:00~16:00 (ただし、12:00~12:45を除く)	愛知教育大学
【郵送の場合】 平成30年3月2日(金)~3月8日(木) 17時必着	

#### 静岡大学に学籍を置くことを許可された者

日 時	場 所
【持参の場合】 平成30年3月5日(月) 9:00~15:00 (ただし、12:30~13:30を除く)	静岡大学教育学部学務係
【郵送の場合】 平成30年2月23日(金)~3月7日(水) 17時必着	

両大学とも、上記期間内に入学手続をしなかった場合は、入学する意思がないものとして取り扱います。

### (2) 納入金(入学金・授業料)

納入金については、合格者宛てに送付する「入学手続要項」にて案内します。入学手続の前に学籍を置く大学指定の払込書にてゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で納入してください。

入学金	282,000円《平成29年度実績額》
授業料前期分	267,900円《平成29年度実績額》
(授業料年額	535,800円)

なお、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学金及び新授業料を適用します。

- (注) 1. 入学金、授業料等の学納金の納入方法については、合格者に平成30年2月中旬~下旬(予定)までに送付する入学手続要項において案内します。
2. 入学金は、入学手続までに必ず納入してください。
3. 現在、愛知教育大学大学院修士課程、専門職学位課程又は静岡大学大学院修士課程、専門職学位課程に在籍中の者で、平成30年4月以降引き続き愛知教育大学大学院・静岡大学大学院教育学研究科共同教科開発学専攻に進学する者は、入学金は不要です。
4. 前期分授業料については、平成30年4月中に納入してください。
5. 入学手続完了者が、平成30年3月31日までに入学を辞退しても、納入済の入学金は返還しません。
6. それぞれの大学において入学金免除等の規定があります。詳細は、学籍を置く大学に問い合わせてください。

## 9 出願資格に関する事前審査

「2 出願資格」(1ページから2ページに記載)のうち7及び8のいずれかによって出願しようとする者は、出願書類を提出する前に、下記に記載する出願資格認定審査を受けなければなりません。

### 【出願資格認定審査申請・審査方法等】

- |          |            |   |
|----------|------------|---|
| (1) 提出書類 | ①出願資格認定申請書 | 所定の用紙によること。   |
|          | ②履歴書       | 所定の用紙によること。   |
|          | ③卒業証明書     | 出身大学の学長が作成したものを提出すること。                                |
|          | ④成績証明書     | 出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したものを提出すること。                       |
|          | ⑤研究歴申立書    | 所定の用紙によること。   |
|          | ⑥研究業績書     | 所定の用紙を表紙に用いること。<br>修士の学位相当以上の論文の別刷又は研究の成果(写し)を添付すること。 |

なお、必要に応じて各種証明書等の追加提出を求めることがあります。

### (2) 提出方法

提出方法は、「書留」による郵送のみとします。

ア 提出期間：平成29年8月29日(火)～9月4日(月)(期間内必着)

イ 提出先：〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836

静岡大学教育学部学務係 TEL (054) 238-4579

### (3) 審査方法

提出書類による書面審査を行い、必要な場合は口述試問による審査を行います。

### (4) 口述試問

口述試問は、選択する分野に関連する事項について質疑応答を行います。なお、口述試問を実施する必要がある場合は、場所・日程等について、申請者に個別に通知します。

### (5) 審査結果の通知

審査の結果は、出願受付開始日までに申請者に通知します。

## 10 入試情報の開示

当該年度の博士課程における受験者で不合格となった者は、出願の際に第一希望として指導を受けることを希望した教員の所属大学へ、試験成績の開示申請をすることができます。詳細は下記までお問い合わせください。

愛知教育大学入試課

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1 TEL (0566)26-2203

静岡大学教育学部学務係

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 TEL (054)238-4579

共同教科開発学専攻専任教員一覧（主な担当授業科目と研究テーマ）

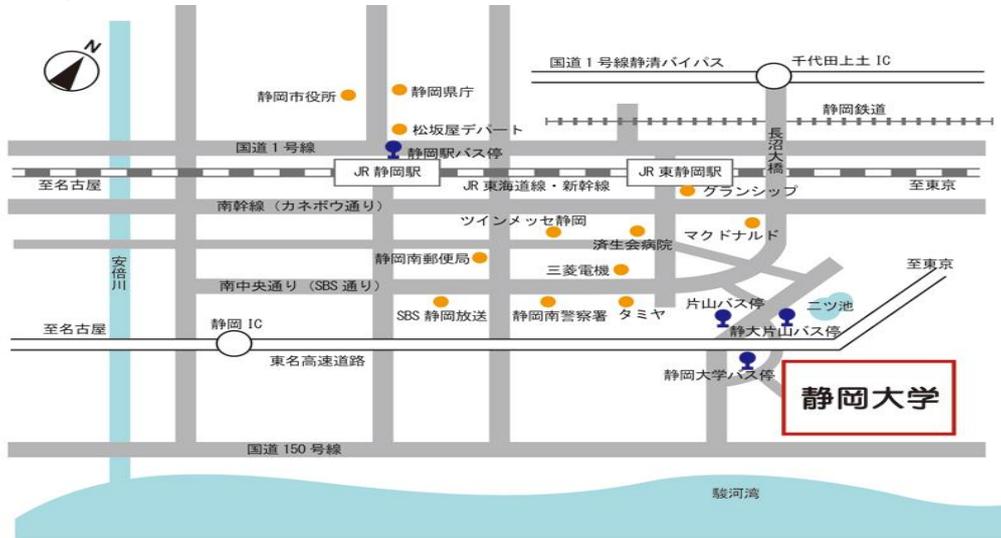
◎主指導教員となり得る教員

	分野 / 大学	愛知教育大学	静岡大学
研究指導教員	教育環境学	<p>◎石川 恭（教授・博士（教育学）） 遊び文化環境論研究（教育社会論，余暇教育論，生涯スポーツ論）</p> <p>◎倉本 哲男（教授・博士（教育学）） 教育経営臨床論研究（授業/教育課程・学級経営・学校経営論）</p> <p>野平 慎二（教授・博士（教育学）） 教育哲学・思想論研究（教育哲学，教育思想史，物語論的人間形成論）</p>	<p>◎村越 真（教授・博士（心理学）） 学校危機管理論研究 （学校の危機管理、児童生徒のリスク認知、地図理解の認知過程，体験活動のリスクマネジメント）</p> <p>◎村山 功（教授・教育学修士） 教育工学論研究（認知心理学，理科教育，情報教育）</p>
	人文社会系教科学	<p>◎稲葉 みどり（教授・博士（学術）） 言語教育内容論研究（英語教授法，異文化理解教育，日本語教授法）</p> <p>◎野地 恒有（教授・博士（文学）） 民俗学教材論研究（日本民俗論，博物館教育論，歴史民俗博物館論）</p> <p>◎伊藤 貴啓（教授・博士（理学）） 地理学教材論研究（農業地理論，経済地理論，地誌論）</p> <p>◎中野 真志（教授・博士（文学）） 生活科教育内容論研究（生活科教育論，総合的な学習の理論と実践）</p> <p>丹藤 博文（教授・教育学修士） 国語科教育教材論研究（言語教育方法論，文芸批評理論，文学教育論）</p> <p>高橋 美由紀（教授・博士（地域研究）） 外国語教育内容論研究（小学校英語教育論（早期英語教育論），小学校英語教育の理論と実践）</p>	<p>◎白畑 知彦（教授・博士（文学）） 外国語教育論研究（第2言語としての英語習得・日本語習得研究，教授法）</p> <p>◎黒川 みどり（教授・博士（文学）） 歴史教材論研究（日本近現代史・思想史，歴史教育）</p>
	自然系教科学	<p>◎稲毛 正彦（教授・理学博士） 理科教育内容論研究（環境科学による教材開発，科学技術活用論）</p> <p>◎岩山 勉（教授・博士（理学）） 物理教材論研究（理科におけるものづくり教育，先端科学技術活用論）</p> <p>飯島 康之（教授・教育学修士） 数学教材論研究（学習環境・コンテンツ開発論，授業研究）</p>	<p>◎熊倉 啓之（教授・理学修士） 数学教育論研究（算数・数学教育論，算数・数学教育課程論）</p> <p>◎小南 陽亮（教授・理学博士） 生物教育内容論研究（生物多様性教育のための教材開発，生態系教育内容論）</p>
	創造系教科学	<p>◎古田 真司（教授・博士（医学）） 保健教育内容論研究（学校保健論，養護教育論，健康管理論）</p> <p>◎筒井 清次郎（教授・博士（理学）） 体育教育内容論研究（運動学習論・幼児の運動能力，身体の協応，運動有能感）</p>	<p>◎新保 淳（教授・博士（教育学）） 体育教育論研究（身体教育論，授業研究論，教員養成論）</p> <p>◎小川 裕子（教授・博士（工学）） 家政教育内容論研究（家庭科内容論，住生活文化を中心とする教材論）</p> <p>◎紅林 秀治（教授・博士（学校教育学）） 技術教育教材論研究（技術教育論，技術教育教材開発，設計を主体とした技術教育）</p>

授業担当教員	<b>教育環境学</b>	<p><b>石田 靖彦</b> (准教授・博士 (心理学))          学校適応論研究 (教育・社会心理学, 学校・学級への適応過程)</p>	<p><b>吉田 和人</b> (教授・博士 (スポーツ健康科学))          身体運動指導論研究 (身体運動学, 身体運動指導論, スポーツパフォーマンス分析)</p>
	<b>人文社会系教科学</b>		<p><b>坂口 京子</b> (教授・博士 (教育学))          国語教育論研究 (国語・国語科 (言語教育) カリキュラム論, 国語科目的・目標論)</p>
	<b>自然系教科学</b>		
	<b>創造系教科学</b>		<p><b>伊藤 文彦</b> (教授・学術修士)          美術教材論研究 (デザイン教育論, デザインリテラシー教育論, デザインプロセス論)</p> <p><b>松永 泰弘</b> (教授・工学博士)          技術教育内容論研究 (熱弾性論, 材料強度学, 機能性材料応用開発)</p> <p><b>杉山 康司</b> (教授・博士 (スポーツ健康科学))          体育・課外活動教材論研究 (身体運動学, 体力科学, 体育・スポーツ科学)</p> <p><b>村上 陽子</b> (教授・博士 (学術))          家庭科教材論研究 (食文化, 食品・料理色彩学, 食品物性学)</p>

# 試験会場・交通案内

## 静岡大学周辺MAP



## 静岡大学への交通案内

JR静岡駅北口のしずてつジャストラインバス8B番乗り場から美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷」行き、(静岡大学経由)「東大谷」行き、(静岡大学経由)「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行きに乗り、「静岡大学」又は「静大片山」で下車。

美和大谷線(静岡大学を経由しないもの)「東大谷」行きに乗りした場合、「片山」で下車。  
(所要時間約25分、1時間に5~7本程度運行)

## 試験会場(静岡大学)学内案内図

